

宇都宮市合流式下水道緊急改善事業の事後評価について

1 事後評価の概要について

- (1) 目的：改善目標に対する事後評価を実施する

※ 国の補助金交付要綱では、工事完了後、実施することとなっている

- (2) 調査箇所：7箇所 **参考資料** 参照（下河原水再生センター、川田水再生センター流入口含む）
- ・ 貯留施設を設置した12箇所のうち施工の安全性等を考慮し選定
- (3) 評価作業に必要な気象条件等
- ・ 1日当たりの総降雨量 10～30mm
 - ・ 原則 3回以上の採水を実施
- (4) 改善目標ごとの評価作業の内容
- ① 「汚れた水の量の削減（汚濁負荷量の削減）」の評価
 - ・ 大雨時に、合流式下水道管から河川へ流れる汚水と雨水が混ざった放流水を採取し、水質を分析する
 - ② 「放流回数の削減（公衆衛生上の安全確保）」の評価
 - ・ 調査対象の雨水吐室ごとの流量データからシミュレーションを行い、対策前後の汚水と雨水が混ざった放流水が、河川へ放流されている回数を試算して比較する
 - ③ 「ごみの削減（きょう雑物の削減）」の評価
 - ・ 雨水吐室に設置したスクリーンでのゴミの捕捉状況や、河川への放流状況について写真で確認する

2 現状について

- ・ 国が示す基準での採水条件は 1日当たりの総降雨量 10～30mm で、原則3回以上実施としているが、現状の採水回数は2回であり、過去の宇都宮市の気象データから、今年度中に条件に合致する降雨は期待できないため、今年度中の事後評価は難しい状況にある

3 対応

- ・ 事後評価に必要となるデータを揃えるため、平成27年度に採水を実施することを見据え、スケジュールを変更する

4 今後のスケジュール（予定）

平成27年 4月～7月：サンプルの採取

7月～8月：データ分析

10月（予定）：懇話会に事後評価結果を報告し、意見聴取

12月 合流改善事業結果について国へ報告

平成28年 3月 上下水道局ホームページに公表